

非核平和都市宣言文(案)に対する意見募集(パブリックコメント)結果

No.	ご意見	市の考え方
1	<p>(本巣市非核都市宣言文の提案)</p> <p>私達日本人は先の太平洋戦争で、世界で初めて広島・長崎に原爆を落とされ、それから九年後には第五福竜丸被爆という悲惨な体験をさせられた。</p> <p>原水爆禁止の平和行進は何十年も続けられ、近年では国連から代表が参加されるようになった。被爆者も高齢化するなかで、自らの痛苦の体験を風化させないと、語り部となり努力されている。</p> <p>そうしたなかで福島原発事故が起きた。安全神話を振りまいてきた人々は一度は反省したかに見えたが、原発再稼動をとなえだしている。[事故原発の調査もできていないのに!]である。</p> <p>本巣市民にとっても他人事ではない。原発銀座といわれる福井で風船を飛ばしたら三時間で岐阜市まで飛んできたのです。また、使用済みの核燃料は増えるばかり、再処理も進んでいません。</p> <p>私たち本巣市民は、世界中から核兵器の廃絶を求めます。</p> <p>人による制御ができず、事故や地震で甚大な被害が予想される原発の停止、廃炉をして、自然を利用した安全・安心のエネルギーに切り替えることを求めます。</p>	<p>自ら宣言文案を作成され、本巣市民として非核平和都市を願うその思いに敬意を表します。</p> <p>本巣市の非核平和都市宣言は、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を願い、市民の総意として世界に訴えることを目的としています。</p> <p>頂いたご意見をもとに、「核の脅威」という表現を「核による放射能汚染の脅威」と改め、原子力発電所の事故を含めた表現としました。</p> <p>なお、エネルギー政策の是非については、今後国が方向性を議論していくべき問題であると考えます。</p>
2	<p>(非核平和都市宣言文の提案)</p> <p>私たちは、核兵器である原子爆弾が広島と長崎を破壊しつくし、放射能被害を幾世代にも渡って生み出す、許すことの出来ない兵器であることを知っています。私たちは、そのような核兵器が再び使われることがないように世界に訴えます。</p> <p>また、世界で唯一の核兵器の被爆国である日本で、2012年3月11日に、東日本大震災による原子力発電所の崩壊が起き、私たちは、またもや放射能の被曝に襲われました。</p> <p>私たちは、これからは核兵器や放射能被曝の恐怖に脅かされることなく、わたしたちの豊かな自然や歴史あるわがまちを継承したいと強く願います。</p> <p>私たちは、核兵器の廃絶とその下での恒久平和を強く自覚し、そのことを本巣市民として世界に訴えるために、ここに「非核平和都市」の宣言を行います。</p> <p>(注)原爆被災も原発事故もともに人類が制御できない放射能による被害であることを呼びかけ、そのどちらも被害も出たくない。主体は「私たち」であることを主張したい。日本語は主語があいまいになるのでその点の留意をした。したがって、故郷を大切にしたいければ「非核」の都市をひろげるために声を内外に向かって行うのは必然です。</p> <p>そして、現実的には、福井にある原発事故があれば、遠く離れている本巣市も放射能拡散に対して防御の方法がありません。通報の有無に無関係に放射能は拡散します。ですから、原発の停止撤廃にむけてのアクションも視野を入れての宣言と考えるべきです。</p> <p>たとえ電力使用を抑制しあっても原発の停止とその廃棄の世論を啓発すべきでしょう。</p>	